

7月27日(土)発行

15 YEARS 1984-2019

ミュージア開館15周年!

ほぼ

日刊サマーミュージック

朝刊

Hobo Nikkan Summer Muza



開館15周年、15年目のサマーミュージック いよいよ開幕!

今年7月1日、ミュージア川崎シンフォニーホールは開館15周年を迎えました。開館翌年の2005年には、「ミュージア川崎で『挑戦する夏』音楽祭」という旗印を掲げ、フェスタサマーミュージック KAWASAKIをスタート。当時「工都」のイメージが強い川崎で、クラシックの音楽祭をスタートする

ことそれ自体が挑戦だったと言えるでしょう。

今年もひとつの挑戦を掲げました。「首都圏のフェスから日本のフェスへ」と銘打ち、その第一歩として、仙台フィルハーモニー管弦楽団を初めて招聘しました。

そして、オープニングを飾るジョン・ササン・ノット&東京交響楽団の

プログラムはいつも挑戦的です。かつてサンダーバードに夢を乗せた一人の少年は指揮者となり、音楽の翼でみなさんを冒険の世界に導きます。

15年目の熱響へ!

フェスタサマーミュージックが今年も始まります。(M)



★本日のプログラムにも掲載しているジョン・ササン・ノット インタビューのwebロングバージョン「ノット監督のサンダーバード愛が爆発!音楽の原点がここに」ミュージア公式ブログにて公開中!▶https://www.kawasaki-sym-hall.jp/blog/?p=11795



お得に食べよう! たのしもう!

PARTNER SHOP

78 店舗

サマーミュージックの公演会場で配布する、「優待チラシ」(下)を提示すると、割引やお得なサービス等の特典が受けられます!

*期間中(7/27~8/12)なら、いつでも利用可能! ・公演がない日でも ・何度でもご利用いただけます。



提携店の一覧はパンフレットまたはこちらから→→



Next! サマーミュージック 明日のチケット情報

イツ・ア・ピアノ・ワールド ~子どもたち興奮のNoriko's World~



7/28(日) 11:00開演(10:30開場)

ピアノ/小川典子

- ラフマニノフ:練習曲集「音の絵」から第1番
●ドビュッシー:月の光
●菅野由弘:「水の粒子」ピアノと明珍火箸のための から
●ドビュッシー:「ピアノのために」からトッカータ
●ショパン:スケルツォ 第2番 から
●エルガー:行進曲「威風堂々」第1番

計150枚程度 大人 1,500円 電話予約:受付終了
当日券あり 当日券カウンター/10:00~販売
子ども 500円 (4歳~中学生)

新日本フィルハーモニー交響楽団 ~ロシア音楽の二大巨頭を味わい尽くす~

7/28(日) 18:00開演(15:00公開リハ開場/17:30本開場)

指揮/上岡敏之
ピアノ/小川典子

【公開リハーサル】 15:30~最長16:30(自由席) ※途中入場不可/終了後、客席をクローズします

- ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
●プロコフィエフ:バレエ音楽「ロメオとジュリエット」組曲から

当日券あり S,A,B席 計200枚程度 S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 U25:各席半額(小学生~25歳)
電話予約:受付終了
4階カウンター/10:00~16:30販売
当日券/17:00~販売
※16:30~17:00の間は販売を休止します

機は熟した!最強メンバーで挑む「グレの歌」

▼「グレの歌」特設サイト <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/gurre/>



～ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演～

ミュゼ川崎シンフォニーホールの開館15周年記念公演の演目として選ばれたのは、シェーンベルクの大作「グレの歌」。ロマン派最後の傑作とも言われる一大巨編に、これまでも数々の名演を聴かせてくれたジョナサン・ノット&東京交響楽団が「最強のメンバー」で挑みます。

「東響とは、マラー「千人の交響曲」だけでなく、モーツァルトのオペラ「ダ・ポント三部作」をコンサート形式で取り上げてきました。大規模な作品だけでなく、声楽と関わる作品の経験を積み上げてきた今だからこそ、この難しい「グレの歌」を高いレベルで聴いていただけると信じています。そして、私のあらゆる挑

戦を受けて立ち、毎回見事な成果を上げてきた東響コーラス。まさに機は熟し、駒がすべて揃ったのです。」

(ジョナサン・ノット=特設サイト コラム#2より)

紙幅の都合で全文をご紹介できませんが、「グレの歌」特設サイトにはこの他にもヴァルデマール役のトルステン・ケールのインタビュー(コラム#1)や、ウィーンのシェーンベルクセンター提供による貴重な資料を閲覧できるギャラリーもあります。今後も情報を更新していく予定です。是非ご覧ください!

演奏時間約2時間という壮大な作品で描かれているのは、愛と怒り、憎しみ、そして魂の浄化……。人

間の心の内面や感情、自然の美しさを描写しています。巨大な編成が奏でるのは大迫力の音量だけでなく、繊細でロマンチックな情景が目には浮かぶような美しさも聴きどころ。実演の機会が少ないこの演目、ぜひライブでお楽しみください!

(事業課 や)

◆「グレの歌」公演情報

10/5(土)・6(日)各日15:00開演

*途中休憩1回・17:15終演予定

会場:ミュゼ川崎シンフォニーホール

指揮:ジョナサン・ノット/ヴァルデマール

トルステン・ケール/トーヴェ:ドロ

テア・レシュマン/他

S¥12,000 A¥10,000

B¥8,000(僅少) C¥5,000(僅少)



パートナーショップのご案内 エンジョイ! 川崎!! Enjoy Kawasaki



甘エビの焼揚げ 580円/ホテルイカの沖漬け 580円

北信越の食材と地酒 一期一会のときめき

北信越の旬の食材と地酒が豊富に揃い、メニューを眺めるだけでワクワクします。毎月、目利きの旬食材を直接仕入れているとのこと。

新潟の地ビールや夏限定の生酒をいただければ、長かった梅雨のジメジメ気分もたちまち爽快に! 利き酒師がいらっしゃるので、日本酒がお好きな方も、馴染みのない方もお気に入りの一杯が見つかります。

鰯酢を添えたアユの塩焼きをかぶりつき、辛口のお酒をクイッと喉に流し込めば、まるで九頭竜川の清流に漂っているかのよう。思わず「もう



アユの塩焼き 1尾980円

杯!」ってそれ何杯目?

来月の目利き食材は何かしら? 優待チラシを持って確かめに行かなくちゃ! ランチは定食もあるので、ご飯党の方はお昼もどうぞ。(管理課 み)

方舟 日本酒 スローフード

▶リスト P.18 掲載

📍ラ チッタデッラ

🎁パートナーショップ特典

1ドリンクサービス

日本酒・スワムレイクビール、ソフトドリンク(烏龍茶、緑茶、オレンジジュース、グレープフルーツジュース)

ミュゼ公式インスタもフォローしてね!

Instagram
ミュゼ川崎シンフォニーホール

旅するミュートン♪

サムーミュージック 2019年もサムーミュージックが始まりました! 今年もミュゼで生まれた元気な音符のミュートンが日本のオーケストラを旅します。約2週間前、わくわくと出荷を待つミュートンたちのようす。「いつてくるトン♪」
#旅するミュートン #ミュゼ開館15周年 #性格は底抜けに明るいです #ちょっと気分屋です #詳しくは「ミュートンの部屋」で検索 #ミュージックもチェック #各オーケストラもチェック



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サムーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サムーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュゼ友の会

・年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サムーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント! DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サムーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サムーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

な
なによりも
あついでミュージック
サマーフェスタ

なによりもあついでミュージックサマーフェスタ

川崎おんがかるた製作中
<2019年末販売>

昨日の感動をお届けします!!
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

世界的なヴァイオリニスト、イツァーク・パールマンにフィーチャーしたドキュメンタリー番組を見た。テレビから聴くパールマンの音色は、温かくて木のぬくもりがあり、心に響く。

彼が10代の頃にアメリカで師事した教師が、名教師の故ドロシア・デレイ。デレイは、イスラエルで習っていた先生と異なり、レッスン中に「これについて、あなたはどのように考える?」と聞く。若かりしパールマンは、「先生の指示どおりに演奏するので、僕の考えを聞かないでほしい」と言う。当時は嫌っていた恩師を今は尊敬しているパールマン。彼は現在、デレイと同じやり方で教えている。

ヴァイオリン演奏に熱中していた大学時代を過ごした筆者。ある日レッスンで、先生から「どういう考えでこを弾いている?」と聞かれ、冷や汗が出たことを覚えている。そういえば、筆者のヴァイオリンの先生もデレイの門下だ。音楽とは、自分自身で常に探求しつづけるものなのだ。人生も同じことがいえるかもしれない。私は自身に、今日をどのような気持ちで過ごしたいか、日々問いかける。

(3)